

○「景観形成作物の実証ほを設置」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第16回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月21日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出 席 者: 委員5名
市役所: 山本主事、普及センター: 成果技師、農業会議: 多田課長
- 報 告 者: 今井 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 農家アンケートは各委員が内容を確認し、12月中に配付、1月中旬に回収することとなった。
- 遊休農地の解消と農村美化を目的とした景観形成作物の実証ほの設置場所を報告し、ヘアリーベッチの播種時期や播種量を、また排水対策を徹底するとともに、播種前、播種後、生育中等の写真も撮っておくよう申し合わせた。
- 12/13の意見交換会については、会長、副会長が正面に座り、会長から取組の概要を報告することに決まった。なお、意見交換会は12/13の13時30分から普賢寺区公民館で開催されます。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援